

公開シンポジウム

**1976 年度立教学芸員課程調査実習から始まった活動
「石仏・語らいの家」：新潟県十日町市鉢集落における
民俗資料保存と公開の試み**



日時：2025年10月25日（土）13:30～17:30（開場13:00）

会場：池袋キャンパス マキムホール（15号館）2階 M201教室

講師：門脇洋子氏（「語らいの家」元管理人）

半田昌之氏（日本博物館協会専務理事）

滝口正哉氏（本学兼任講師、徳川林政史研究所特任研究員）

※参加費無料、要事前申し込み

オンラインでの配信は行いません。

お申し込みはこちら



公開シンポジウム「1976 年度立教学芸員課程調査実習から始まった活動 「石仏・語らいの家」：新潟県十日町市鉢集落における民俗資料保存と公開の試み」

今から 50 年近く前、立教大学学芸員課程は、新潟県十日町市鉢（はち）集落で調査実習を行いました。この調査は地域に伝わる石仏や民俗に関するものでしたが、参加した学生たちは、その後半世紀にわたって地域と交流を続けることになりました。



今回のシンポジウムでは、立教大学学芸員課程の修了生達が行った民俗資料展示公開プロジェクト「石仏（いしぼとけ）・語らいの家」を取り上げます。鉢集落での調査に参加した学生たちは調査を通じて何を学び、なぜその後長年にわたって地域と関わることになったのでしょうか。そこには博物館や学芸員にとって大切なメッセージがあるはずです。学芸員課程で学ぶ学生や修了生の皆さん、お誘いあわせの上ぜひご参加ください。

（右上：石仏調査実習、左下：民具の展示、表面：鉢集落の石仏）

プログラム

- 13:30 ～ 13:40 趣旨説明
- 13:40 ～ 14:20 講演 1 門脇洋子氏「語らいの家ものがたり」
- 14:20 ～ 15:00 講演 2 半田昌之氏「日本の博物館世界における「石仏・語らいの家」活動の意義」
- 15:15 ～ 15:45 講演 3 滝口正哉氏「立教受け入れ民具資料と学芸員課程収蔵資料の意義」
- 15:45 ～ 16:00 報告 菅原みどり氏・増子佳穂氏・青木英輔氏（学芸員課程 2023・2024 年度修了生）
「立教受け入れ民具資料調査の現況」
- 16:00 ～ 16:55 座談会
- 16:55 ～ 17:15 質疑応答
- 17:15 ～ 17:20 閉会の挨拶
- 18:00 ～ 20:00 懇親会（5号館地下レストランアイビー）
- ※懇親会も下記からお申込みいただけます。

※オンラインでの配信は行いません。

参加費は無料ですが、
事前申し込みが必要です。

お申し込みはこちら



学芸員課程の先輩方の話を聞いてみよう！

学芸員課程では現在、博物館で学芸員として活躍する先輩を含む修了生と、現役学生をつなぐネットワークの構築に取り組んでいます（学芸員課程修了生と現役学生をつなぐネットワーク構築事業）。本シンポジウムはその一環として開催するものです。